

沼津中央病院連携施設精神科専門医研修プログラム (沼津中央病院)

1 はじめに

精神科診療における、多機能を有する民間精神科病院を基幹病院としたプログラムである。我が国の精神科病床のほとんどが民間精神科病院であるという現実在即し、また、国が目指す地域包括ケアシステムを具現できるよう、地域社会に根ざした臨床実践的な内容を主軸としつつ、学術や教育面にも配慮した包括的なプログラムを目指している。



プログラム統括責任者 沼津中央病院 院長 杉山 直也

2 目的

静岡県東部の病院間をローテートし、それぞれの病院の特徴や専門性を活かすことにより、精神科として総合的な知識・技能を高め、精神保健指定医や精神科専門医資格等取得のための準備を効果的・効率的に進めることを目的としている。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

沼津中央病院

静岡県東部において精神科救急基幹病院、精神科専門医研修施設、卒後臨床研修病院、横浜市立大学、浜松医科大学の卒後臨床研修病院として、精神医学教育・研修の主要な役割を担ってきた。古くから地域精神医療を中心理念とし、充実したサービス提供に取り組んできた。圏域の精神科救急基幹病院に指定されており、全国に先駆けて60床の精神科救急入院料を整えて、プレホスピタル領域から急性期、そして地域生活までの一貫した完結型医療を多職種チームによって提供している。統合失調症や気分障害、認知症などの代表的疾患のみならず、救急応需の使命によって児童から老年期まで、依存症や発達障害等、近年需要が高まりつつある多種多様の精神疾患にも幅広く対応している。種々の社会復帰プログラムや、地域資源の活用による包括的サービス提供も活発であり、精神科領域のあらゆる診療機能について、症例を通じて有効かつ統合的に経験し体得できる環境を有する。

(2) 専門研修連携施設

○ 連携施設1：大手町クリニック

沼津中央病院のサテライトクリニックとして、昭和41年に開設された精神科診療所の先駆けである。早期介入・早期治療をめざし、地域医療に活躍している。デイケアを有し、小規模ながら多職種でのチーム医療や、精神科リハビリテーションが経験できる多機能型診療所である。

○ 連携施設2：鷹岡病院

富士圏域における精神科医療の中核を担っている。沼津中央病院と同様に、地域精神医療を中心理念とし、圏域の精神科救急基幹病院に指定されているほか、認知症疾患医療センターにも指定されている。精神科救急入院料病棟を整え、精神科全般の症例や治療場面

について、プレホスピタル領域から急性期、そして地域生活までの一貫した完結型医療を多職種チームによって学ぶ機会がある。また数々の社会復帰プログラムや地域生活支援にも取り組んでおり、臨床現場で地域連携についても学習する機会がある。

○ 連携施設 3：NTT東日本伊豆病院

総合病院の有床精神科であり、その特色を活かし、身体合併症を有する精神科ケースの治療、リエゾン、摂食障害、気分障害、ストレス関連障害の入院治療等、単科の精神科病院とは異なる診療アプローチを幅広く学ぶことができる。また、認知症疾患医療センターとして指定されており、認知症ケアにおける地域の中心的役割として、老年期の精神医療を経験できる。

○ 連携施設 4：聖明病院

依存症治療において圏域の中核を担う県内有数の専門医療施設であり、急性期（急性中毒）、依存症への心理教育、集団療法プログラムまで、多種の専門治療プログラムを有し、専門治療を実地に体験できると同時に、AA、断酒会、DARK 等自助グループとの連携についても学ぶことのできる特色のある病院である。

4 専攻医受入数

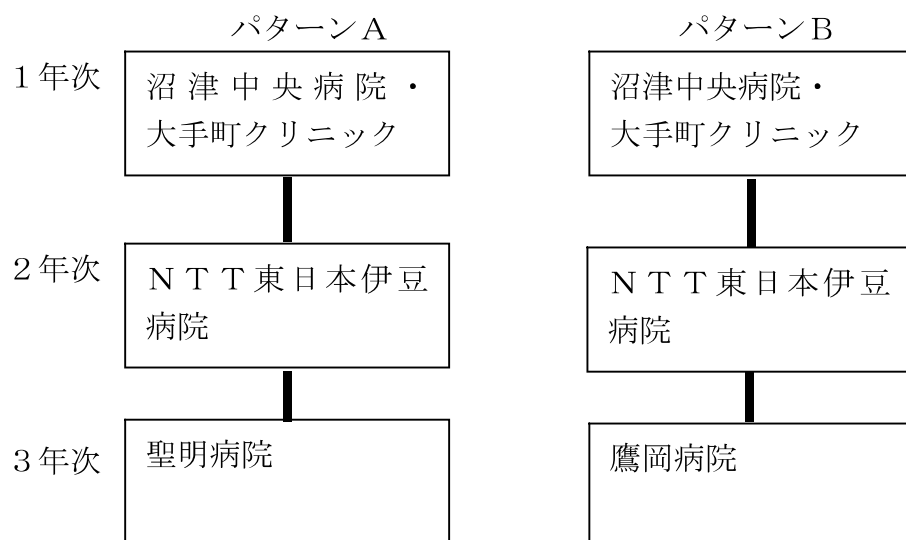
専攻医の募集人数：各年次（ 2 ）人

5 研修期間

3年間を予定しています。

6 研修計画（例）

ローテーションモデル例



7 問い合わせ先

問い合わせ先、申し込み方法、研修プログラムなどの詳細は

日本精神神経学会ホームページより、

「新専門医制度専門研修応募案内」

<https://www.jspn.or.jp/senkoi.html>

「精神科専門研修プログラム検索」

<https://www.jspn.or.jp/modules/program/>

を、ご覧ください。